

豊島が展開する「TRUECOTTON」と Spiberの次世代繊維「Brewed Protein™繊維」を 素材に使用したニットウェア 8 型が ロンハーマンより2023年12月1日(金)に発売

快適なライフスタイルの提案を進める豊島株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長：豊島半七）が展開する、安心安全なトルコオーガニックコットン「TRUECOTTON（トゥルーコットン）」と、バイオベンチャーのSpiber(スパイバー)が開発した人工タンパク質素材「Brewed Protein™繊維」が混合された素材を使用したニットウェア全8型が、2023年12月1日(金)よりロンハーマン各店にて発売されます。



豊島が展開する「TRUECOTTON」は、綿花農場で働く人が健康で明るい毎日を送ることができ、綿花を紡いで糸をつくる紡績工場働く人も、明日も元気に働こうと思える環境、そんな裏付けのある場所で作られた安心安全なオーガニックコットンです。生産者や手法、土地を大切にするという価値観が、ファッションの世界に拡散することを目指しています。

ロンハーマンはサステナビリティビジョンに「オリジナルブランドの主要素材をサステナブルなものにシフトする」という目標を掲げ実現に向けて取り組まれています。2021年に同社が展開した、シンプルで美しいデザインはそのままに環境負荷軽減と日本の生産背景に移してアイテムを製作したプロジェクト“the BEAUTIFUL”において、豊島が展開するTRUECOTTONや廃棄食材を染料として再活用したFOOD TEXTILEの生地を採用いただきました。

2023年12月1日(金)よりロンハーマン各店にて発売されるニットウェア全8型(ウィメンズ4型、メンズ4型)には、豊島のTRUECOTTONと、バイオベンチャーのSpiberが開発した、植物由来のバイオマスを主な原料とし微生物による発酵プロセスを活用してつくられる人工タンパク質素材「Brewed Protein™繊維」の混合素材が使用されています。Brewed Protein™繊維はポリエステル以来の革命的素材ともいわれており、主原料を枯渇資源にも動物資源にも依存しない持続可能な生産を可能にしています。

ファッションが環境に与える負荷の大きさが叫ばれる中、TRUECOTTONを採用いただくことで地球環境や人々の生活に配慮した方法で生産される素材が広がっていき、より良い未来を創造する一歩となることを願っています。



▲ウィメンズ・メンズともに展開のシンプルかつ上質なジップアップフーディ、パンツ、ビーニー



▲同デザインのクルーネックプルオーバー

■TRUECOTTONについて

「農場と紡績工場」の特定ができるオーガニックコットン糸。
豊島株式会社が、トルコオーガニックの紡績グループ“UCAK TEKSTIL（ウチャクテクスティル）社”と、日系企業向けの独占販売契約を結び誕生しました。
オーガニックコットンを選ぶということは、実は生産者を農薬などの健康被害から守るということ。綿花を紡いで糸をつくる紡績工場働く人まで、明日も元気に働こうと思える環境、そんな裏付けのある場所で作られたオーガニックコットン糸です。



HP : <http://truecotton.jp/>



Instagram : [@true_cotton](https://www.instagram.com/true_cotton)



ライフスタイル提案商社

■豊島株式会社 <https://www.toyoshima.co.jp/>

1841年創業。180年を超える実績を礎として、時代の変化に応じて事業領域を拡大。グローバルな原料手配から最終製品の企画・生産管理・納品まで、ファッション産業のサプライチェーンを総合的に担います。また持続可能なライフスタイルを提案する企業として、Society5.0の社会に向かってサステナブル素材や機能的な商品の開発を進めるとともに、テックベンチャーへの投資や提携を通じてインフォメーション・テクノロジーを活用したサービスの提供を進めて参ります。2019年より「MY WILL（マイ・ウィル）」をステートメントとし、当社の姿勢を打ち出しています。